

地域ごとのまちづくり計画

(逆瀬台小学校区まちづくり協議会 (ゆずり葉コミュニティ))



令和2年(2020年)3月策定

目 次

はじめに	1
現状と課題	1
<small>ま ち</small> 地域の将来像	2
基本目標	2
具体的な取り組み	3
あしがき	11
資料	11

【はじめに】

宝塚市では、平成5年(1993年)から新しくコミュニティ課を設置して、市の主導で市内の概ね小学校区を単位（人口約1万人程度）として、住民活動の横断的な協議会を組織し運営を図るよう推進してきました。

逆瀬台小学校区においても、平成5年(1993年)から平成7年(1995年)にかけて10数回の準備委員会が開催され、平成7年(1995年)6月24日に、市内で9番目のまちづくり協議会が発足しました。これが、逆瀬台小学校区まちづくり協議会（通称：ゆずり葉コミュニティ）です。

そして、「まちづくり計画」策定に関しましては、平成13年(2001年)6月22日に開催された「宝塚市まちづくり協議会代表者会議」において、「市民と行政の協働によるまちづくり計画の策定について」の議題の中で、地域ごとの「まちづくり計画」の見直し作業をするとの行政よりの報告があり、当地域では、全世帯の合意のもと、他のまちづくり協議会に先駆けて、平成15年(2003年)12月6日に「まちづくり計画」の具体案を宝塚市に提案しました。

その後、この「まちづくり計画」を単なる計画で終わらせず、具体化するための推進会議を行政とともに開催しフォローアップは、主体が市民か行政か、または事業者を含めた協働で行うか、それらの点を短期、中期、長期に分けて話し合いを行ってきました。また、毎年逆瀬台小学校区まちづくり協議会総会資料に「まちづくり計画書」を添付し、完了したものは除き、計画の実現に向けて取り組んできました。また、令和元年にも、各関係団体の代表者に対するアンケートを実施し、「まちづくり計画」の更なる充実を図りました。これらの内容は「ゆずり葉だより」にもその都度掲載してきました。

これらの作業の経過を経て、令和元年(2019年)度中に、地域ごとの「まちづくり計画」の進捗状況の確認と現状分析を行うことで見直しました結果、以下のように取りまとめを行いました。

【現状と課題】

ゆずり葉コミュニティは宝塚市南西部にある逆瀬台小学校区をその区域としており、東半分は主に昭和30年代～50年代に開発された計画的な戸建て住宅とマンション群が広がり、西半分は六甲山系につながる山地となっています。地区の南部には逆瀬川・白瀬川が流れ、地区全体としては「自然の豊かな閑静な住宅地」としてのイメージが強い一方で、住宅地の大半は丘陵地・山地を開発してつくられ、急な坂道が多く、高齢者の移動や買い物などが課題です。

コミュニティの人口は年々減少傾向にあり、平成31年(2019年)3月末日現在で8,429人、4,103世帯となっています。そのうち65歳以上の高齢者が44.5%を占め、高齢者の割合が市内で最も高いが、65歳以上の人口に占める要介護・要支援認定者の割合は18.24%と市内でも低くなっており、健康な高齢者が多いといえます。ただし、今後も高齢者が増加していくことが想定され、独居高齢者等の見守り、支え合うことが必要と考えられます。

また当コミュニティ内には、阪急逆瀬川駅方面と西宮市方面を結ぶ県道明石神戸宝塚線があり、平成30年(2018年)4月に盤滝トンネルが無料化されてから、さらに交通量が多くなっています。ハイキング客やサイクリング客の往来もあるため、安全対策が求められています。



【^まちの^ち地域の将来像】

豊かな自然 ・ 美しいまちなみの中で、健康で安心してくらせるまち

自然豊かな当地域は、昭和30年～50年代に美しいまち並みに開発されたが、今では宝塚市内でも特に高齢化率が高い地域になっています。三世交代交流でお互いに助け合う「まちづくり」を実践し、高齢者が健康長寿を目指し、安全、安心で、このまちに住んで良かった、将来も住み続けたい、そして是非住んでみたいというモデル地域になるよう住民全員で取り組んでいきます。

【基本目標】

1 自然を活かした健康長寿のまちづくり

当地域は高齢者が多いことから、高齢者が何時までも健康で、介護が要らないように暮らしていくこと（ピンピンコロリ・PPK運動）が理想です。このため、豊かな自然を保全し、その自然を活かして整備してきた「健康づくり散策路」等の一層の充実を図り、自主的な維持管理につとめます。

2 ふれあいと助け合いで安心して暮らせるまちづくり

今後、高齢化率が益々高くなっていくことから、地域の憩い・交流の場としくみづくり、高齢者が安心して社会参加、日常生活ができるしくみづくりに取り組みます。また、子ども達から高齢者までがふれあえ、コミュニティの活性化につながるような施設づくり、活動に取り組みます。また、安心して暮らせるよう、より一層防災、防犯への取り組みを強化します。

3 安全・安心・便利なみちづくり

当地域では自動車ならびに自転車等の交通量は年々増加し、人と車が交錯し、一部の道路では大変危険な状況が見受けられます。安心して歩けるような交通対策を推進します。高齢者も多く、公共交通の充実や車椅子で安心して通行できるような道路環境づくりを推進します。

4 美しい、緑と街並みを培うまちづくり

当地域は大半が計画的に開発された住宅地であり、道路・公園、住宅地等が整然と整備されていることが特徴であります。また里山や中小河川などの豊かな自然を有し、緑に包まれた閑静な住宅地としてのイメージが強いと感じられます。

このような優れた景観・環境を保全し、更に魅カアップするための活動に取り組みます。

5 まちづくりにつながるひとづくり

「まちづくりはひとづくり」といわれるように人材の発掘・育成が重要です。一般に若い世代は地域への関心が薄く、これまでコミュニティ活動の中心であった方々は高齢で活動に参加しにくいという状況がみられます。次世代のコミュニティ活動を担っていく人材の発掘・育成に積極的に取り組みます。

【具体的な取り組み】

基本目標	具体的な取り組み	継続	新規	スケジュール（西暦）					役割分担（協働の領域）				備考	
				20年	第6次総計					① 市民	② 主に 市民	③ 市民と 行政		④ 主に 行政
					21年	22年	23年	24年	25年					
1. 自然を活かした健康長寿のまちづくり	1	○												奥行き30m、幅員2mで車椅子が通れるようにする
	2	○												歩道幅員2mを確保、車道と歩道の境界にガードレールを設置する。

基本目標	具体的な取り組み	継続	新規	スケジュール（西暦）					役割分担（協働の領域）				備考	
				20年	第6次総計				① 市民	② 主に 市民	③ 市民と 行政	④ 主に 行政		
					21年	22年	23年	24年						25年
3	逆瀬川団地入口に接する白瀬川歩道橋の下・逆瀬川マンション北側から逆瀬台住宅に沿う散策路と護岸のモルタルを一定の間隔で露地を穿って植樹と花木・花草を植栽し、白瀬川のアメニティロードとすることについて引き続き行政に働きかける。	○												
4	ゆずり葉緑地公園の環境整備について、現状や課題等の把握・検討を行う。 （1）ゴミ対策の美化看板の設置 （2）違法駐車解消のための駐車場の充実などの交通環境整備 （3）北部地帯にトイレの新設	○												
5	地域住民がお互いに声を掛け合い、助け合って地域内公園、花壇、公共用地の樹木や花の補植、清掃等の居住環境の保全・育成を図る。「地域緑化モデル地区指定花壇」として整備する。	○									○			
6	公園アドプト制度の導入を推進し健康遊具を設置するため、「公園リノベーション事業」を継続する。	○										○		
7	裏山の自然や散策路の整備、維持管理、及び健康寿命の延伸を図る健康づくりと環境美化を兼ねた散策活動の活性化に努める。	○									○			
8	深谷貯水池を周囲に桜木の植樹、水にふれあえる公園として有効活用できるようにする。	○									○			
9	宝塚ゴルフ場の農薬散布に係る情報の定期的に行うように要望する。	○									○			

基本目標	具体的な取り組み		継続	新規	スケジュール（西暦）					役割分担（協働の領域）				備考				
					20年	第6次総計				① 市民	② 主に 市民	③ 市民と 行政	④ 主に 行政					
						21年	22年	23年	24年						25年			
2. ふれあいと助け合いで安心して暮らせるまちづくり	10	小学校・中学校・高校の体育館や運動場・空教室、各集合住宅の集会所・体育施設を一定条件の下に地域住民へ開放し、スポーツ活動・コミュニティ活動の活性化を図る。	○															
	11	スポーツ行政を推進する立場から「小学校体育施設開放事業」の運用強化を図り、住民ボランティアによる逆小体育施設運営委員会に積極的に参画する。	○															
	12	「宝塚市コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)」を設置し、学校、保護者、地域が一体となった子どもの教育に関わっていく。		○														
	13	地域のコミュニティ活動の中心となる「ゆずり葉コミュニティルーム」を更に一層有効活用するために、周辺環境条件の充実、例えば、車利用者への対応や出入口等の整備について現状や課題等の把握・検討を行う。	○															
	14	逆小正門から100m下るバリケードの間を、道路指定から学校敷地へ用途変更し、逆小脇の水路上に蓋をして駐車場として有効活用することについて、引き続き行政に働きかける。	○															
	15	高齢者の福祉と買い物対策として、新たな交通手段を検討する。		○														
	16	自治会が管理運営する自治会館を地域住民のふれあいサロンとして活用して顔見知りの関係をつくる。	○															

基本目標	具体的な取り組み	継続	新規	スケジュール（西暦）					役割分担（協働の領域）				備考		
				20年	第6次総計				① 市民	② 主に 市民	③ 市民と 行政	④ 主に 行政			
					21年	22年	23年	24年						25年	
	17	地域の有志に、街かどふれあいスペース（蔵書の公開、オープンガーデン、趣味の作品展など）を提供してもらい、地域住民間のふれあい・交流を活発にする。	○												
	18	高齢者等が気軽に集まって食事ができる場をつくる。（地域食堂、気軽に立ち寄れる喫茶スペースなど）	○												
	19	独居老人の意向をふまえながら、病弱、持病がある人や障害がある人達の希望をまとめ、緊急通報システムや買い物の手伝いなどの具体的な見守り運動を民生委員と連携して構築・展開する。併せて、「災害時要援護者支援制度」の取り組みを推進する。	○									○			
	20	ゆずり葉コミュニティで仮称「防災対策委員会」を設置し、単位自治会での防災の取組みの意見共有の場をつくる。また、地区防災計画を視野に入れて検討する。（各単位自治会の避難ルート、避難所等の整理など）	○									○			
	21	犯罪抑止（空き巣等）のための防犯カメラの増設を要望する。	○										○		
	22	地域内に交番の新設と警ら箱・警察官立寄り所の増設を要望する。	○										○		
	23	地域の防犯パトロールを強化する。	○								○				
	24	児童の防犯に対して、アトム110番の継続と周知に努める。	○										○		
3. 安全・安心・便利なみちづくり	25	県道明石神戸宝塚線の騒音対策（速度制限や看板の設置、警察官の配置など）について、現状や課題等の把握・検討を行政に働きかける。	○											○	

基本目標	具体的な取り組み	継続	新規	スケジュール（西暦）					役割分担（協働の領域）				備考	
				20年	第6次総計					① 市民	② 主に 市民	③ 市民と 行政		④ 主に 行政
					21年	22年	23年	24年	25年					
26	逆瀬台の住宅地内にあるバス通りで、警察と連携のもと、スピード制限を遵守するよう、安全対策、騒音防止活動を行う。	○												周辺地域からの車の通り抜けが多く危険
27	逆瀬台1丁目のファミリーマートと逆瀬川マンションに隣接する道路の角地の安全対策について、現状や課題等の把握・検討を行政に働きかける。		○											
28	逆瀬台1丁目の若瀬橋付近において、児童の安全対策を実施する。	○												3道路が交差し、住宅街で見通しが悪い上に県道明石神戸宝塚線に通り抜けする車が非常に多いため、通学時は大変危険
29	青葉台の④蔵人台共同墓地及び⑤市営西山霊園への車を利用しての墓参者の対応について検討を行う。	○												
30	逆瀬台5丁目から共同墓地横を通り南口・逆瀬川方面への道路の安全対策について行政に働きかける。	○												道路中央の部分が高くなっており、現在の停止ラインで止まっても逆瀬台方面から来る車は見えにくいので大変危険
31	路上駐車は、車椅子の障害となり、また見通しも悪くなるので、取り締まりを強化するよう警察署へ要望すると共に、地域独自のパトロール等に取り組む。	○												

基本目標	具体的な取り組み		継続	新規	スケジュール（西暦）					役割分担（協働の領域）				備考						
					20 年	第6次総計				① 市民	② 主に 市民	③ 市民と 行政	④ 主に 行政							
						21 年	22 年	23 年	24 年						25 年					
	32	阪急バス・逆瀬台センター行きの路線でバス停の間隔が長く、高齢者の行動圏拡大のためにも、逆瀬台1丁目と逆瀬台5丁目の中間地点に新しいバス停の設置を要望する。	○																	
	33	<p>県道明石神戸宝塚線は、荒地西山線が開通すると交通量がますます増大する。このため、県道明石神戸宝塚線（白瀬川橋西詰から諭鶴羽橋北詰までの区間）の安全性確保、事業化の推進について、行政に働きかける。</p> <p>(1) 3車線にして、右左折レーンの完全整備を行う</p> <p>(2) 南側沿いに幅広いグリーンカラーの歩道を設置する</p> <p>(3) 歩道区域は、常緑高木の緑地化とその樹間はベンチ等を置いて憩いの場とする</p> <p>(4) 現在2カ所あるバス停に十分なポケットを設置する</p>	○																	
4. 美しい、緑と街並みを培うまちづくり	34	コミュニティ西側に広がる里山は宝塚市全体の貴重な自然であり、健康づくり活動とも連携しつつ、ボランティアな管理活動の推進を図る。	○																	
	35	県道明石神戸宝塚線やバス通りの沿道は、街並みの統一・街路樹の統一・瀟洒なデザインの街路灯設置、歩道の美装化など安全で快適な道路空間づくりについて、行政に働きかける。	○																	

基本目標	具体的な取り組み	継続	新規	スケジュール（西暦）					役割分担（協働の領域）				備考		
				20年	第6次総計				① 市民	② 主に市民	③ 市民と行政	④ 主に行政			
					21年	22年	23年	24年						25年	
	36 逆瀬台3丁目から6丁目まで整備された紅白のサルスベリの街路樹について水やりや手入れを継続する。	○									○				花と緑の公園都市宝塚に相応しい逆瀬台の景観づくりは10年を超えて大プロジェクトが完了
	37 逆瀬台1丁目から白瀬橋を渡った4丁目公園の正面入口付近について、まちなりの入口にふさわしい瀟洒なデザインの街路灯の設置について、行政に働きかける。	○											○		
	38 県道明石神戸宝塚線に沿う宝塚ゴルフ場の鉄柵フェンス・コンクリートポール・ネットはまちなりの景観を大きく損ねているため、ゴルフコースの設計を見直すなどしてこれらの撤去検討を要望していく。	○									○				
	39 空き家の放置、環境悪化が問題となった際に単位自治会から市に連絡し、所有者に草刈り等の連絡調整をしてもらう。		○										○		
5. まちづくりにつながるひとづくり	40 小学校、中学校の教育のなかで地域の魅力や問題点の発見学習を行い、まちづくりに対する意識や地域への愛着を育む。	○										○			
	41 積極的に声をかけ合う「あいさつ運動」を実施する。	○									○				
	42 逆小児童の登下校時の見守り活動を活性化する。特に土、日曜日、祝日と年末年始を除く育成会児童の同伴下校を充実させる。	○										○			

基本目標	具体的な取り組み	継続	新規	スケジュール（西暦）					役割分担（協働の領域）				備考		
				20年	第6次総計					① 市民	② 主に 市民	③ 市民と 行政		④ 主に 行政	
					21年	22年	23年	24年	25年						
43	地域で活動している各種団体の交流会、情報交換のためのイベント等を開催する。（福祉ネットワーク会議等）	○									○				
44	地域内の様々な才能をもった住民に参加を呼びかけ、仮称「文化・技能祭」を開催し、音楽会や住民持ち寄りの作品展・観賞等を通じ地域文化の発揚と交流を定着する。	○									○				
45	地域内の様々な才能をもった住民を「人材バンク」として登録し、いざというときに活躍していただけるシステムをつくる。	○									○				
46	地域住民を対象としたまちづくり学習、講演会の開催、県・市などが主催するまちづくり研修会への派遣・参加を積極的に行う。	○									○				
47	他コミュニティや他自治体のまちづくり協議会と交流を行い、学習する。	○									○				
48	ミミズクポスト、ゆずり葉だより、ホームページの充実に努め、双方向の意見交換ができるシステムを検討する。	○									○				
49	「白瀬川の自然を育てる会」を発足し、白瀬川でホタル観賞、自然観察等ができるように環境の保全維持に努め、住民の交流の場づくりを目指す。	○											○		

【あしがき】

逆瀬台小学校区まちづくり協議会（ゆずり葉コミュニティ）における地域ごとの「まちづくり計画」は、当初平成15年12月6日に諸先輩方の大変な努力により、作成されました。その後、幾度も内容が吟味され、完了したものは削除され、新たな計画も付け加えられました。

この「まちづくり計画」は、この地域をより良くしたいという住民8,429人全員の願いが込められているものです。わたし達は、決して計画に終わらせることなく、将来に向けて、一つ一つの計画に向き合い、取り組んでいかなければならないと考えています。

今まで、この「まちづくり計画」策定に携わり、活動をされてこられた諸先輩方に敬意を表するとともに、これから一緒に「まちづくり計画」の実行に移していく仲間たちにも敬意を表したいと思います。

今後とも逆瀬台小学校区まちづくり協議会（ゆずり葉コミュニティ）にお住まいの皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

【資料】

○まちづくり計画策定過程

- ・平成29年(2017年)11月～令和2年(2020年)3月 五役会・役員会（まちづくり計画の見直しについて検討・意見交換・とりまとめ）
- ・平成30年(2018年)6月 広報誌にて意見・提案の募集
- ・平成30年(2018年)10月 福祉ネットワーク会議にて福祉分野に関する意見交換
- ・令和元年(2019年)1月 まちづくり計画案への意見募集
- ・令和元年(2019年)6月～7月 住民アンケート調査
- ・令和元年(2019年)7月～8月 ワーキングチーム会議（アンケート調査結果を踏まえて具体的な取組み等について意見交換）
- ・令和2年(2020年)1月 まちづくり計画案への意見募集（パブコメ）

○まちづくり計画に参加して下さった方々

- ・逆瀬台小学校区まちづくり協議会（ゆずり葉コミュニティ）役員会・五役会の皆さま
- ・住民アンケート調査

自治会、管理組合のゆずり葉コミュニティ役員、民生児童委員、活動助成金配布先サロン代表者、ゆずりは会役員 49名